

第3回大垣公園等再整備基本計画市民検討委員会

議事録

(令和6年8月2日)

第3回大垣公園等再整備基本計画市民検討委員会を令和6年8月2日（金）市役所4階情報会議室において開催した。

次第は、次のとおりである。

1 あいさつ

2 議 題

- (1) 第2回市民検討委員会会議の発言内容について
- (2) 新大垣城ホールの機能等について
- (3) 新大垣城ホールの施設規模等について
- (4) 大垣城の見え方について
- (5) 建設候補地について（案）

委員は次のとおりである。

出席委員（12名）

竹内 治彦	金森 武	田中 慎也	松本 正平	箕浦 之治
三代 広子	三輪 正直	安田 忠邦	矢橋 達郎	浅井 光寿
河合 保孝	渡部 加佳子			

欠席委員（7名）

溝口 正人	岡本 敏美	杉田 邦隆	竹中 昌子	安田 典子
實井 美侑	原 玲佳			

市の出席者は次のとおりである。

都市計画部長	河瀬 良康	地域創生戦略課長	安田 佳樹
市民活動推進課長	古山 樹宏	商工観光課長	中島 茂樹
都市計画課長	清水 克人	公園みどり課長	辻 紳一
公園みどり課長	河田 憲章	建築課長	松原 輝幸
社会教育スポーツ課長	林 昭義	地域創生戦略課	小川 健志
地域創生戦略課	河合 泰志	公園みどり課	栗山 一嘉

員会の会議の発言内容につきまして、資料No.1をご覧いただきたいと存じます。前回、お話がございました要点をまとめてございます。この後、No.2、No.3の説明の中で、検討をしていくものでございますので、その中でまたご説明をさせていただきますが、1番は、大垣城ホールの7つの機能について、さらには、2番、3番、ステージの有無、観客席の数というご意見を頂戴いたしております。さらに裏面では、景観として、大垣城の見え方などに対するご意見を頂戴したところでございます。

- その他に、今日ご欠席の [REDACTED] の方からもご意見を頂戴いたしておりますので、ここで少し紹介をさせていただきます。
- 本日は欠席をせざるを得なかったことを大変申し訳ございません。屋内の遊戯施設についてコメントをさせていただきます。屋内の遊戯施設は、雨の日や暑い日など天候を気にすることなく走り回ったり、飛び跳ねたりと体を思いっきり動かすことができるのでとても良いと思いました。施設をつくるにあたっては、滑って転ぶような作り方にしないこと、木製遊具などささくれや破損などがいないかなど、十分な日常点検が必要だと思えます。また、子どもだけでなく親子で一緒に楽しめるものや、スペースを作るのも良いのではないかと感じました。引き続き、市民検討委員の一員としてまた、ご協力させていただきたいと思えますので、本日はお休みをいただき、申し訳ございませんでした。というコメントをいただいております。
- それでは、前回の発言内容に基づきまして議論に入っていくということで、2番の新大垣城ホールの機能等につきまして、資料で順次ご説明をさせていただきますので、資料No.2の方をご覧いただきたいと思えます。着座にて失礼します。
- 今申し上げましたように、第2回の委員会のご指摘を受けまして、特に行政が強い覚悟を持って進むということで、先ず、私どもといたしましては、現施設が中心市街地に位置し、どのような機能を果たしているのか、また、さらに効果がどのくらいあるのか、その機能はどの程度の影響があり、その一部をまた、全てを郊外に移転した場合にどのような影響があるか、全て検証すべきであると考えました。
- そこで、最初に、中心市街地の特性を検証したものが「①②③番」でございます。中心市街地における人口の割合は約5%。宿泊施設、飲食店は市内の全地域の約3割から4割が中心市街地に位置しており、その中でも奥の細道むすびの地記念館をはじめとする文化・観光施設の入

館者数、こちらが令和5年度、一番右の下でございますが、28万2千人と、多くの方が毎年訪れられてみえます。

- ・2ページをお願いいたします。さらに、鉄道交通をはじめ、バス、公共交通機関の集積地にもなっており、高齢者を中心とした市民生活上の重要な交通拠点ということが伺えるかと思えます。
- ・次に3ページをお願いいたします。こうした特性を持った中心市街地ににぎわいの施設を建設する検証をさせていただきますと、先ず、観光客、宿泊客の推移でございますが、令和5年度には約147万8千457人、宿泊客で24万7千人の、大垣市内への来訪者がありました。コロナ禍以降、緩やかな回復傾向にございます。また、「(2)」ですが、駅通りにおける主なイベントの開催日数と人数では、大垣まつりなどの三大祭やイベントが年間15日、中心市街地で開催されており、土日祝日の約13%、年間107万人の方が訪れられた実績が出ております。
- ・次に、4ページをお願いいたします。「(3)」の過去4年間の大垣城ホールの平均利用日数でございますが、前回、前々回でもご説明させていただきましたが、今回、より詳細な分析をしてまいりました。イベント等で約3割の2万7千人、スポーツ等では約7割の5万7千人。うち各種大会の土日祝日の開催では、各種スポーツ大会で約1万4千579人、約1万5千人の方の来場がありました。その中でも令和4年度を見ていただきますと、水色で網掛けをしておりますが、各種大会の利用者が最も多い令和4年度2万4千480人、この利用者を大会ごとに見た表がその下のブルーで示しております、19の大会で1万1千126人が西濃大会をメインとしておみえになっているという結果が出ております。
- ・「(4)」のこうした検証の結果、その効果をご説明させていただきます。やはり中心市街地は商業施設も多く、公共交通機関も発達しているため、やはり利便性に優れている。また、大垣城ホールに隣接する大垣公園では、日常のやすらぎを求める市民のみならず、大会やイベントなどを通じてお弁当を食べたり、遊具で遊んだりするなど、街中の憩いの空間を求め、一年中多くの市民などの方が来園しています。また、中心市街地における建設業の面からの経済波及効果を算出したところ、効果は108億円となり、中心市街地の衰退、空洞化はまち全体の活力衰退につながるため、今後もスポーツの持つ誘客力に加え、新たなコンベンション機能を追加して中心市街地の活性化を図っていくべきだと考えております。
- ・続きまして、6ページの「3」の新大垣城ホールを核とした、まちづく

りにつきまして、少しペーパーをまとめてまいりましたので、資料No. 2-1をご覧ください。この画面のほうでもご紹介をさせていただきます。大垣城周辺のエリアは基本構想の基本方針の方でもご議論していただきましたように大垣城が持つ歴史、そして大垣城ホールが持つにぎわい、大垣公園の芝生広場が持つやすらぎ、この3つが融合したエリアであり、このどれが欠けても魅力が失われると考えております。また、このエリアを中心とした、まちづくりを考えたとき、市民や西濃圏域の人たちが大垣城ホールに各種講演会やスポーツ大会などで訪れて、駅通りの商店街やその周辺に、時には食事を、そして時には買い物、郊外の公共施設ではない中心市街地ならではの経済活力の向上を図ること、さらに、時には観光客、大垣駅を起点としまして、たらい舟で川下りを楽しみ、奥の細道むすびの地、さらに最近できた商業施設から、丸の内公園、大垣公園と立ち寄り、大垣城を眺めながら駅前商店街から大垣駅へ歩みを進める。こうした回遊性の拡大、休日では多くの市民が駅前に集い、まちなかスクエアガーデン、市役所周辺の丸の内公園では水都大垣まちなかテラスに参加するなど、大垣公園、大垣城ホールの周辺ではイベントやスポーツ、これを同時に開催することにより交流人口の拡大を図ってまいります。

- ・この3つの相乗効果によりコンパクトシティの実現を目指してまいりたいと考えております。この実現に向けまして、新城ホールに求める機能を前回7つお示しさせていただきましたが、4つにしてまいりましたので、資料No.2の7ページの方をご覧くださいと思います。先ず、大垣城ホールは新しい機能といたしまして、コンベンション機能を求める機能としてまいります。イベント、催し、さらにはコンサートやスポーツ観戦の誘客機能を入れた「(新) コンベンション」。さらに体を動かす、そして生涯スポーツ、レクリエーションに親しむ「スポーツ等の推進」。災害時において避難する拠点、さらにはその前の災害に備える減災、これを合わせた「防災」。新しく、子どもたちの遊び場、そして市民活動の支援、「(新) 子育て等支援」機能の4つを、この新大垣城ホールに求められる機能として再考させていただきました。なお、この機能をもとに資料No.3の方に、新しい機能の修正案を提示させていただきましたので、よろしくご審議の方をお願いいたします。どうぞ、よろしくお願いたします。

委員長

- ・ありがとうございました。中心市街地の特性というところで機能のと

ころを、7つを4つに絞ったということですが、これにつきましてご意見、ご質問ございましたら質問をお願いいたします。

委員 ・ 前回と重複する部分もありますけれども、先ず、観光協会として、ただいまの7ページのところの新コンベンションということが書いてありますが、コンベンションという言葉。参加の方もご理解しておられない方がかなりいらっしゃると思いますので、大垣市の事務局としてコンベンションという定義をどのように考えておられて、どの部分を「新」と考えておられるのか、それをお聞かせいただいで質問させていただきたいと思います。

事務局 ・ コンベンションというのは前の資料にもお示ししてございますけれども、展示会場であったり、そこまで大垣市は求めてはおりませんが、よく言われる国際会議のような展示会場であったり、企業の説明会であったり、多種多様なイベントや催し物ができる施設、それを私どもは考えております。新しい機能ということで、また後ほど市内のソフトラピアジャパンセンターの方にコンベンション機能を有する県の施設がございますけれども、そこでやっている展示、さらには企業の説明会、そういうものが新たに大垣市の方で開催ができたらということで考えております。以上が新しい部分でございます。

委員 ・ 私も仕事柄、コンベンションというものについていろいろ実務もさせていただいたことがあるんですが、ちょっと調べ直してみますと、コンベンションというのはビジネスコンベンションというのが一つあります。企業とか業界団体等のもの。それから先般お話をさせていただいて、■■■■先生からもお話がありました、学術コンベンションというものがあります。それから最近特に増えてきておりますが、ポップカルチャーコンベンションということで、映画とかアニメとかゲームとかコミックなどの問題、それから今もお話のありました業界の展示会の問題、社会運動あるいは政治コンベンションというものもあろうかと思えます。それから、もう一つは、政治的な目的の社会的運動関連のイベントというようなものがあろうかと思えます。そういうものの中で、幅広く本来的に捉えるものを絞り込む場合について、やはりその辺りのことが非常に重要ではなかろうかと思えます。そういう点でイベントということで、図表の下にも書いてありますけれども、イベ

ントというものの捉え方についても、やはりその地域としての特性というものを生かしながら、立地とアクセスとか設備の規模とレイアウトとか、安全性とか設備のサービスとか、そういうような要件が非常に多岐にわたってくると思いますし、そういう点で、コンベンションという言葉の使い方が本来的にいいのかどうかというのが、先ず私の一つの大きな疑問でございます。

- それでいろいろ今までの実績等の資料もを見せていただいても、コンベンションというものはないようでありまして、イベントとしては今、分析がされて報告がありましたようなイベントというものがありますから、イベント、行事、式典とか、あるいはそういうものについては可能かと思えますけれども、そういう点でコンベンションというものがこの4つの形態の中で一番前に出てくることについて、ちょっと違和感もありますし、コンベンションというものをしようと思うと、ハード部分が今度の一つの大きな課題かと思えますけれども、あとの方の資料に見ますと、資料No.5の1ページのところのホール棟と書いて（競技棟）と書いてあります。ここでのハード部分を見ていきますと、競技が今までももちろん行われておりますから競技棟ということなんですけれども、競技棟と、そうするとコンベンション棟ということをやうまく合わせられるのかというのもこの辺りの大きな課題ではなかろうかと思えますので、そういう点ではちょっとこの辺りの問題整理をもう少ししていただく必要があるのではなかろうかという私の意見でございます。

委員長

- ちょっとよく分からないんですけれども、コンベンションという言葉について■■■■委員さんをご専門ということもあって、特別その言葉に思いを抱かれるとして、一般常識的なコンベンション、イベントの拡張的なところでの言葉としてはあると思います。その内容を詰め方は詰めていくとして、様々なイベント、各種行事、現在と同じですね。現在の延長で、現在のような形で各種の卓球であるとか、バドミントンの大会とその場所で選挙の開票や簡単な式典、行事が行われていくという意味で新コンベンションということで書かれているわけですが、これがいけないということですか。

委員

- コンベンションという言葉自体から受けるイメージとはかなり違うのではなかろうかという気がいたしまして、いかがでしょうか。

- 委員長 ・言葉については、では後で調べさせていただきますけれども、この機能として、そのコンベンションという言葉がいいのか悪いのかはともかくとして、ある種の考え方をここで一つ打ち立てていくということについてご議論があるということでしょうか。
- 委員 ・はい。そのとおりです。
- 委員長 ・ご議論があるというのはどういうことですか。私としては今日ここで全て決めていきたいと思ってるわけですが、ご議論があるというところで止まるわけですが、どういうことでしょうか。
- 委員 ・コンベンションというものについては、先ず会議とか集会とかという部分が全面的な言葉ではなかろうかと思imasるので、そういう部分とイベントという部分であれば、イベントを全面的に出したほうが分かりやすいのではなかろうかと思imas。
- 委員長 ・では修正しないとご同意いただけないということですね。
- 委員 ・現在はそう考えております。
- 委員長 ・はい、どうしましょう。イベント等という言葉が非常に軽いかなということで、たぶん市の方としてはコンベンションという言葉が使われたのかなと想像するんですけども、要するに言葉だけですね、お話になっている内容は。包括する概念がどうかということですね。それはちょっとお預けいただけませんか。ちょっと勉強させていただいて、検討はさせていただきます。ひょっとしたらご本意に沿わないかも知れませんが、コンベンションという言葉を使わせていただく可能性もありますけれども、ここで述べているような内容って、それほど今の状況と違ったことを言っているわけではないと思imas。それに対して今回コンベンションという言葉を使っていると。そのコンベンションという言葉が使われることが■■■■委員としては納得できないということだと思imasので、もしこれ、言葉の問題というふうに私としては解釈しますのでお預けいただきたいと思imasんですけど。
- 事務局 ・もちろんコンベンション。新しい使い方、言葉ということで分かりに

くいという表現かも知れません。今やっておりますイベント、催し会場に加え、この後出てきますけど、ソフトピアジャパンセンターのソピアホールの中では、例えば西濃地域の障がい者の就職面接会とか、高校生のための企業フェア、さらには事例の発表会やフォーラムなど、本当に多種多様なものをまとめまして、新たなコンベンション機能としてやっていきたい。今までは確かに、市のイベントや歯のフェスティバルなどをやっていたんですが、でもやはり、駅や商店街から近いところ、この近いところという利点がこの新大垣城ホールにはある。ここで西濃全体を見据えた面接会とか、新しい機能を持たせてやっていきたいというのが私どもの考えでございますので、ご理解賜りたいと思っております。

委員長

- ・今のご説明よくわかりました。要するに様々な行事をされたいということですね。様々な行事、イベントというのが今まで駅の周りで、■■委員さんがご尽力いただいてきた様々な行事のそういったものだけではなく、様々な行事ということで、それを包括する言葉としてコンベンションという言葉を選んだと。そのコンベンションという言葉がそれには不適切ではないか、というのが■■委員さんの言葉ですね。あくまでも言葉だけの問題ですよ。ここで様々な行事をやっていくんだということについてご議論があるわけではないと。言葉の問題だけとして預からしてください。よくよく調べさせていただいて、適切な言葉を見つけていきたいと思えます。ということでよろしいでしょうか。
- ・他にご発言をお願いいたします。

委員

- ・今日は体育連盟の副会長という立場でこの場におりますので、これは事前に資料等も見させていただきまして、先ずコンベンションの中にスポーツを観戦する場とありますけれども、これは、例えば西濃大会だとか何かを親が見るとか、そういうことではなくて、例えばプロスポーツを誘致するであるとか、そういった意味でのことですか。このコンベンションと書いてあるのは。

事務局

- ・そこまでの大会を呼ぶことは、想定しておりませんが、今のプロスポーツ、いわゆる後ほど出てきますけど、バスケットで言えばBリーグとか、その規模になりますと、観客席が足りません。ただ、やはり新

しくできる以上はちょっと欲張りかも知れませんが、そのできる部分を、プロスポーツを、子どもたちや市民の皆さんにも見ていただきたいという意味で、できることをやっていこうというふうに私どもは考えております。

委員

- ・はい、ありがとうございます。であるならば、この右にスポーツ等推進してあるわけじゃないですか。我々体育連盟としては、この中にいわゆる競技としてのスポーツの文言ってどこにもないですよ。もちろん限界もあるでしょうし、広さ、あと観客人数のこともありますけれども、どこまで行ってもスポーツの施設としては中途半端というか、これは以前にもお話ししましたけれども、ここにスポーツ施設がなくなっていると思っています。要するにレクリエーションでできるスポーツは別ですし、例えば小学校、中学校の西濃大会だとかそういうことができるのは別にいいと思いますけれども、それであるならば、やはりコンベンション機能。そちらをもっと充実をさせた上で、できればスポーツをする場としてのいわゆる競技場としての施設というのは、やはり郊外であるとか、今、いろんなところにありますので、そこを充実拡充させるということが僕は重要ではないかなとそういうふうに思っております。
- ・これを見るだけで、コンベンションがあつて、スポーツ等推進があつて、防災があつて、子育て等推進があつて、これは欲張りすぎというか。そもそも、コンベンションとスポーツ等推進以外の、防災、子育て等支援を並べるということ自体が、いかにも市民受けをする姑息なやり方に見えてしょうがないんです。防災というのは箱があれば、当然それは防災機能ですし、あとは子育て等支援というのが、もしこれをその中に作って、そこで少しでも本来やるべきところが犠牲になるのであれば、今度、大垣公園が広がるわけなので、そしたらそこにそういった施設を僕は作ればいいんだろうなと。これ一度作っちゃったら、もう出せないじゃないですか。
- ・この後、当然、皆さんの意見に従いますし、最終的には市のほうで進めていくわけなので、そこに対して異論を唱えるつもりはありませんけれども、どうもこれに違和感を感じて、先ほどご欠席の方からもあったように、子どもと一緒に遊べる施設が欲しい。これ当たり前のことですよ。でも、ここの中にどうしても必要なのかと言ったら、私は必ずしもそうではないと思っております。

・このスポーツ等推進も謳うのであれば、やっぱりもっと競技志向の、外部から来ても恥ずかしくないような、例えば国体があったりだとか、大きな大会があったときに自慢できるような施設にしていきたいなど、これは体育連盟として、それは説に願うところです。

委員長

・はい、ありがとうございます。競技志向的なスポーツのところをどう考えているんだという点について、市の見解をお答えください。

事務局

・はい。競技スポーツということでは、先ほども申しあげましたように、大きな日本リーグの大会はできません。この後出てまいりますけど、今の利用状況の中でいうと、西濃地域のスポーツ大会を誘致しており、今後、こうしたスポーツをしっかりとここでやっていきたいという思いがあります。

委員長

・競技スポーツについてはたぶん4ページ5ページのところです、高校生までの大会をやってきたということで、それに見合った施設ですよということで、もちろん大人の本格的な大会を誘致するレベルまでは行ってなくて、アリーナをもって、様々なイベントや行事をしていくということなので、どちらからしても不十分というお声もあるのかも知れませんが、それを全部叶えるだけの施設をいくつも作っていくというのは現実的にはやはり無理なので、ちょっと足りないところがそれぞれあって、どちらかに絞れば立派なものができるのにというご意見ももっともだと思えるんですけども、じゃあ2つ作りますかという話になってしまうので、市は積極的に力強く語っていらっしゃいますけれども、客観的に見てどっちも足りないよという声が出てきてしまうのかも知れませんが、現実的にはここで締めさせていただきますということをご理解いただけたらなというところだと思います。

委員

・もう一つ申しあげましたけれども、子育て等支援については、遊び場を作るということですね。そのこと自体は余裕があるんだったら非常にいいことだと思いますけれども、例えばそれを大垣公園の方に作るのか、いろんなものをよくばってやるので、やはりそれが足かせになってはという思いがございます。

事務局

・もちろん足かせになってはいけないというのは、重々市の方としても

承知しているところでございますが、この後、大垣公園の芝生広場の大きさであったりということを決めていく中で今、大垣公園の課題としては、やはり雨が降った時、ちょっと雨宿りができるとか、雨が降って行くところがないといったことがございますので、そうした場所が欲しいと考えております。それを大垣城ホールの中に入れるのか、それとも外に出すのかということの議論は決定しておりません。今回は候補地を決めるために全体の規模ですね、これを概ね皆さんにイメージしてもらうという趣旨の段階でございますので、今後、ご議論をいただいたご意見をもとに今言った外に出すのか、単体で作るのか、どのように作るのかというのは、また次の段階でご協議をさせていただきたいと思っております、ぜひ、今後ともまたご意見をいただきたいと思いますと思っております。

委員 ・ はい、ありがとうございます。

委員長 ・ こういう天気ですからね、さすがに外で子どもに遊びなさいという状況ではないということなので、何らか屋内型の施設を考えていかなくはないといけないという今の日本の夏なのかなと思いますので。ただ総面積の中で何が適切かということは設計段階でじっくりまた検討いただくということで、ただこの機能としては一応残させていただいて進めさせていただければというふうにご理解いただければと思います。

委員 ・ 最初に前回の議事録が資料No.1で出ていますけれども、「5」の景観のところ、2ページですけれども、市民の憩いの場をオープンスペースに整備するのが趨勢である、という前回、■■■■先生が最後に発言されたことが、私は、一番いいといまだに思っております。そういう意味で、今日も大垣城ホールを建てるありきの話が出ておりますので非常に違和感を持っております。

・ 大垣城ホールの機能の再考ということで、先ほど■■■■さんがおっしゃいましたコンベンションという言葉については再考されるということですが、その中の発言で、いろんなコンベンションがあるんだと、企業イベントだとかビジネス、それから、学術、アニメなど、政治的、社会運動と、このコンベンションの中に多くの機能をここに入れると。先ほど事務局のお話ですと、そのコンベンションは様々な事業を全部行うんだと、そういうコンベンションが新しいコンベンションだとい

うことであります。とするならば、このコンベンション機能を残しますと、かなり大きなコンベンションが、しかも様々な行事を行うことができるコンベンションということになってまいります。そういった中で、先ほど■■■■委員さんがおっしゃったようなスポーツをそこに融合させていく、同じように使うようにしていくということにつきまして、私は、非常に違和感を持っております。

- ・さらに、今、委員長もお話にもありましたが、中学生、高校生の大会だというふうにおっしゃいましたけれども、中学生の中学校総体、卓球ですね。それから高校総体。バドミントンですね、これは全部中体連や、それからインターハイにつながる大会でございます。中学生、高校生にとっては、その上の大会に出れるか、出れないか、オリンピックと同じように出れるか出れないかの重要な大会です。私は、そういったスポーツが健康増進やレクリエーション、それからその後の、資料No.3の青のところに書いてある軽スポーツだとか、レクリエーションというふうにはとても思えません。
- ・したがって私としては、卓球やバドミントン、フェンシングやバレー、こういった競技スポーツではなくて、本当にここに書かれてあるような健康増進だとか、レクリエーション、こういったもののスポーツに限定をしてやるべきではないかなというふうに思います。
- ・もしそれでも、ひょっとしたら、このコンベンションの様々な機能をまかなうということになれば、スポーツ施設自身をここでは使わないような、■■■■委員がおっしゃったような、そういったことも考えておくべきではないかなというふうに思います。以上です。

委員長

- ・市のご説明にも違和感があるのですが、コンベンションをすごく強調されて説明されていますけれども、実際コンベンションをあれもやる、これもやるというお話があったとしても、実際それって本当にあてをもっておっしゃられているのかなと。私のイメージでは、様々なスポーツの行事、今もあるその行事が先にあって、おそらく、それぞれの団体さんの方から要望も受けていると思います。それを前提にしてアリーナが作られて、そのアリーナの活用法の一つとしてコンベンションがあるという認識で、そんなに大きな施設を作って、それを本当にしっかり使っていけるほどの見込みというのがあるのかなと。むしろ、4ページに書かれている様々な学校、体育関係の行事ですね、それが中心なんじゃないかなというふうにも理解しているんですが、いかがで

しょうか。

事務局

- ・機能というところのまとめ方で、どうしても今みたいな説明にはなっていないんですけども、こちらにお見えになる方は皆さん大垣に長くお住まいの方、新大垣城ホールというのは必ずしも新しく作るものというよりは、今まであったものの機能の更新だというような位置づけを考えています。
- ・その中で、街中に一定の屋内空間というのがいろんな意味で、今まで市の行事であるとか、防災であるとか、選挙の開票であるとか、そういったものに寄与してきた機能がございまして、■■■■委員がおっしゃられるようなところで中心市街地からなくなってしまっているかという話になりますと、私は40年ほど市役所の方で仕事をしている中でも、やはりあそこには一定の空間が必要だと。それが今言っているようなイベントであるとか、コンベンション的な内容に関して常時使っているかという話になりますと、初回にお話しさせていただいた使用率の関係では、全体の中ではスポーツが半分。行事がある時は行事が優先されるんですけども、その空きの部分であったりとか、駅からの立地ということ考えた時に、一定のところではスポーツに使用されてきたという経緯がございまして、そういうところも踏まえて、今ある機能をまとめ直したものが今みたいな機能ということで、体育施設を全部別々にすればいいかという、先ほど委員長の方からもお話ありましたように、それぞればらばらに作ってしまったら、非常にコストも高くなります。維持管理もこれから少子化であるとか、行政の規模が小さくなって、できるだけ小さくしていかなければならないという中で言うと、できるだけ稼働率が高くてみんなが使い回せるようなものというところで、中途半端という表現はそうかもわかりませんが、現実、今の大垣城ホールというのはそういったご利用のされ方をしているという観点で、ちょっともう一回考え直していただけないかなというふうに考えております。

委員

- ・今のスポーツというのは、例えば平日であるとか、普段、もちろん卓球とか、有料・無料を含めて、いろいろやっている。いわゆるレクリエーションの一環としてのスポーツを決してやらないとか言っているわけではなくて、先ほど■■■■委員もおっしゃったように、やはり競技力向上のための施設ってやはり違うと思うんです。専用の場所を、ま

た専用の設計のもとでやるのが、大垣市の今後、特に子どもたちの今後のスポーツ力の向上にとって本当に僕は重要だと思っています。それを達成しようと思ったら、やはり全部一緒に凝縮してというのは無理があるんじゃないかなと。むしろ逆にそれが足かせになって、コンベンション機能であつたりとか、あとホールとしての機能がスポイルされるのであれば、それであるならば先ほど、私も■■■■委員がおっしゃったようなことに賛同したいなと、そのように思う次第です。

事務局

・今おっしゃられたような話で、普段の軽スポーツとかなんかの利用という部分は、もちろん平日なんかですとほとんどがそういう利用になります。しかしながら、やはり一定規模の大会をやろうとした時、あるいは県内から人が集まったりする場合には、大垣駅から近い場所での大垣城ホールというのはやはり機能が高いというふうに我々は認識しております。現実にも今までそういう利用がされているので、それをわざわざ今回のところで機能を無しにしますよと言って、それを郊外にまた新たに作るとなると費用的にも高くなりますので、やはりそこは全体を見た時にそういう機能も補完しながら、災害が起こった時の拠点にもなり得るし、あるいはコンベンション、会議、イベント等にも使えるし、というような利用の方がとにかく有効な施設として更新できるのでは、というふうに考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

委員長

・機能の話というと、ぼわっとするところがあつて。仕様ですよ。各大会をやるのに十分なスペースであるとか環境を確保するということを前提にして仕様、延床面積であつたりとかが決まっていくという話だと思うので、今日の後の話として、それをレクリエーションスポーツだけであれば、おそらく今日ご提案されるものよりも一応小さいものでできてしまうという話になると思うんですね。だからその整理だと思うんですけども、市の思いとしては、■■■■委員さんや■■■■委員さんがおっしゃられるような競技性としての施設の役割を果たせる条件は担保するんだということが前提になっているのかどうかということをしっかりご説明いただくといいんだと思うんですね。どうでしょうか。

事務局

・担保性につきましては、次の規模のところでも触れさせていただこう

かなと思っておりました。今のホール面積が約1,500㎡ですので、そこから前回お示しした新ホールが約1,800㎡、300㎡くらい今よりも増えていないと、ということで、規定の大会で取れるコート面など同じ面積の中で、競技性がどこまでと言われますと西濃の大会程度を考えており、次に出てきますので、そちらでお話をさせていただきます。

委員

- ・これもしつこいようで申し訳ありませんけれど、例えば野球をやっている子だったら長良でやりたいと、競技をする子どもたちが憧れの場所になるような競技場であってほしいなど、もうその一点です。西濃大会くらいなら、大丈夫ですよ、何とかできますよ、みたいな言い方をされちゃうと、やっぱりちょっと寂しさが。せっかく作るのもともとスポーツセンターなので。

事務局

- ・申し訳ございません。市としましても大きいものを作れば、もちろん、場所の制約、経費の面などが出てまいります。西濃一を目指しつつ、特に卓球の方々が北部体育館が無くなって、今こちらでやってみえます。私もいつも通りますけど、「今卓球ができます」、卓球の聖地だと言っていただけのお声を聞いております。そうしたお声を聞く中で、今私が「西濃程度」との、大変失礼な発言をいたしまして、大変申し訳ございませんでした。しっかり卓球の聖地としての機能をしっかり備えた施設として、もちろん卓球だけではありませんが、委員がおっしゃられた、皆さんが憧れる、新しい機能を備えた施設をしっかりと整備していきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

委員長

- ・前回、かなりですね、風呂敷を広げたような形でご説明されて、それに対してそんな大会できないよ、というご意見がいくつかあったので、今回は制限してということだと思うんですけども、使用面で可能かどうかということではなくて、今、 委員さんが言われたのは象徴的な意味ですね。それはそれで大事なことだと思います。ただ、例えば、武道館という建物がもともと武道で使われるわけですけども、今、コンサート公演でも聖地であるということで、一つの会場が両方の意味を持つということはあると思うので、それは追求するということはあると思うんです。それでご理解いただきたいということと、場所についても実は前回のご議論、特に昨年委員でなかった方々からご意見があって、昨年度の最終段階のところでのどの辺に建てるという

ところまで議論していたわけですがけれども、それを遡った形でご議論
いただいて、全部それは問答無用で先に進めるというのは本来の形か
も知れなかったんですけれども、やっぱり市のご提案を少し積極的な
意味合いというか、どうも今までをなぞっていくという形の提案の要
素が強かったので、そうではなくて、こうじゃなきゃいけないとい
うことを積極的に言えるような提案として、もう一度鍛えなおしまし
ょうということで、いろいろ資料を整理いただきました。

- ・それで他所に作れないのかということも、実は計算してみても結構ど
れくらいお金かかるんだ。二つ建てることになったらお金どれくらい
かかるんだということも検証してみると、だいぶ余計にかかると思いま
すけれども、例えば郊外に体育施設を持って行った場合に、例えば、
三城地区とか、今体育館があるところに持って行った場合にかなり集
中するだろうと。秋のシーズンとか。そうすると、駐車場をフルスペ
ックで揃えてしまうとかなり無駄になると。長良川の施設のところで
すね。あれ、駐車場あっても全然足りないんですが、周辺が協力する
形でなんとかバッファーになっているんですけれども、そういうもの
ができないとかなり駐車場も混乱しますし、それから今の5ページの
ところの大会をご覧いただきますと、お子さんの大会が結構多いと。公
共交通機関に依存しないで全部車の送迎となりますと、ご家族の負担
も相当出てまいりますので、必ずしもスポーツの大会が全て郊外がい
いのかなということについて、今までこれでやってきているならこれ
でいいんじゃないかというような話。三城の方についてはそういう考
えもあるかな。現在のところの■■■■委員さんですね、空けておくの
が当たり前なのだという、犬山とか名古屋の話がされるとそうなか
も知れませんがというところで、大垣で現実的に空けてしまったとき
にどうなるかということで、先ず、コンベンションと今日おっしゃら
れている内容、■■■■委員さんから指摘されたように、やっぱりまだ甘
いところがあると思うんですね。いろいろやりますと言っているだけ
で、結局中身が詰まっていない。本当にこれスポーツ関係を外へ出し
ていったときにコンベンション施設でもって十分に使い切れますかと
なると、これクエスチョンなところがあって、それをやっていくのは
どうなんだろうかというところがありますし、東西街区の話が、ご存
知の方が多いと思いますけれども、今中断した中で、西街区の再開
発の起爆剤として、これやっぱり進めていきたいというところがある。
そういうことを考えてある程度の規模でこれを作っていくということ

が一つの出発点なのかなと思います。

- ・市の皆さんと私も大分議論させていただきましたけれども、ゼロベースで進めていって、今日こういう形で先ほどご説明いただいたというところでして、ゼロベースで新しく作るということであれば、一つのチャンスとしてそういう考え方もあるんじゃないかというところですが、なかなか現実に様々な資源が限られている中でそこは難しいので、現状をなぞった形のものの再提案という形になっているんですけれども、ぜひご理解を賜りたいというところです。
- ・子どもたちがそこに憧れを持つような会場であるということとか、十分な高校生まで、高校生が中心としていけるかどうか難しいかも知れませんが、少なくとも、中学生までの競技性については保証できるそういう施設をしっかりと作っていくということをお約束するというところまでご理解をいただけないかなと思うんですけれども。■■■■委員さんはいかがでしょう。

委員

- ・いろんな話が出ましたので、私としてはですね。先ほど部長さんは、どうしてもこちらに作りたいというお話でしたけれども、いろいろな、今の機能をそのままにするには中心地が当然いいに決まっています。そちらに作る時に、今、委員長さんから話もありました、東西街区の問題も含めて、やはりそれは体育施設と文化施設全てをすぐに作るなんてことはとても無理ですよ。お金もかかると思います。ですから、そういったものを長期的に考えて、10年後や20年後にどんな形の大垣市の文化施設、体育施設、スポーツ施設、そういったものを、また今の競技施設も含めて。イベント施設ですね。そういったものも含めて、全体のもをしっかりと作り上げたその上で、この大垣城ホールをどういった形のものにしていくんだということが、私は、本当は一番必要んじゃないかな、と思います。
- ・その議論がない中で、スポーツもコンベンションも一緒にこの中に全部、今やっていたから押し込めるんだというような議論になりますと、私はちょっと無理があるというふうに前から申し上げておりました。その上で、ここに書かれてある軽スポーツや先ほどの小中高校生のスポーツをここに持ってくるというのも非常に無理がある。そこまでの高校生総体、中学校総体を持ってくるだけの床や、設備や、それから今度はコンベンションやイベントなどの空調も含めた形での設備を整えようとする前回会議で出てきた3階建て、2階建ての大

きな建物になるということになってしまいます。

- ・私の勝手な試算を、前回の会議からしましたけれども、そうしますと、大体20億から25億円くらいかかるんじゃないかなと私は思っております。今すぐ委員長がおっしゃるように、じゃあコンベンション施設として作って、また体育施設はすぐ作りましょうということであれば、当然それよりも大きなお金になりますでしょう。そうではなくて、体育施設は体育の中心のところに、いろいろ集めることによって相乗効果を生み、様々な研修施設もそこに建てることもできますし、今、中心から離れたところだと大変だというお話がありましたが、今、バスの乗り手も非常に少ない。バスの運行自身も大変で、大垣市が助成金を出しております。そういったバスの施設を十分に使うような形での交通網というものも一緒になって作っていければ全然問題ない話でありますし、そういった長期的な体育施設の設備、それから文化設備というものをしっかりと作った上で、大垣城ホールはスポーツ設備はらない。例えばですよ。コンベンション、防災、子育て支援、こういったものをもっと充実させた、そういったものにしていこうと、例えばそういった形での話でもいいんじゃないかなというふうに思いますが、あとはこの軽スポーツというところが、私は何度も申し上げているとおり、軽スポーツやレクリエーションスポーツと中学校高校総体と、これが一緒にされて、できるということ自身に非常に疑問を感じますし、違和感も感じているところであります。以上です。

委員

- ・前回の会議でも、優先順位をつけていくべきだと。やはり、よろず機能では、なかなか100年先でもみんなが集えるというようなコンセプトが果たして達成できるのかということだったと思うんですけども、例えば、基本的にこのコンベンションホールを作った場合、こういった西濃の大会がやれる程度のスポーツ設備を整えた機能を有した場合に、音響とか空調とかそういった関係というのは融合するのでしょうかね。例えば、フェンシングとか卓球とか、主にこういった競技が開催されますと言われましたよね。その競技を仮にこのまま続けるとした場合に、また新たな集いの場としてコンベンションホールを作りましょうよ、といった場合に、そういった音響とかスポーツ関係の諸々の施設・設備がいると思うんです。それって果たして融合するんですかね。今みたいな程度のコンサートとかができるのであれば、今程度の設備でいいんですけども。

・会議所としてはやはり流入人口が増えていただいで中心市街地の活性化を図りたい。コンベンションホールとかそういった域外から多くの方にお起こしいただけるような、そういった催しができるものを、この中心市街地に起爆剤として、ぜひ作っていただきたいというのが会議所としての願いですけれども、それがメインなのか、その施設でこういったスポーツもできますよ、という、その付帯になるのか。そこの優先順位をはっきりしていかななくても、例えばそれに伴うコンベンションホール、例えば、音楽。県外から誘致できるようなミュージシャンのような場合の音響設備。

委員長 ・少なくとも音楽については、ここをそんなに中心的には考えていません。

委員 ・いや、中心的にというのではなくコンベンションというのはね。先ほどの■■■■委員のように。

委員長 ・先ほど申し上げたように、市民会館の代替ということについては別に検討するということになっておりますから。

委員 ・でも、そうしないと、コンベンションをここに作ったところであまり意味がなくなってきましたよね。何のために、このコンベンションを作るのという。

委員長 ・それはそうなんです。いろんなものを抜いていってしまうと、コンベンションだけでこの建物がいらなくなるので。

委員 ・作っても作らなくてもいいものなら■■■■委員が前回おっしゃったように、ない方がいい。これから100年先にこれを中心市街地の起爆剤にしていくんだということであれば。このコンセプトはそうでしたよね。100年先もみんなが愛し集える施設を作っていきましょうよ、というコンセプトの基であるのであれば、何かに特化して、特化した中で、これもできますよ、あれもできますよ、という付帯をつけていったほうが、私は。

委員長 ・優先順位という話だと思うんですよ。だから、この建物の仕様を決め

ていくときに、何の仕様を第一番目に見ていくのかという話だと思うんですね。さっき、私が申し上げたのは、この仕様を決めていっているのは、どちらかというと体育施設の仕様からスタートして、今日、後の面積のご提案とかあるんですけども。体育施設ベースで考えているんじゃないですかということなんですけれども。そうでないということであれば、また仕様の形が変わってくると思うんですけども。

事務局

- ・行政側といたしましては、大変申し訳ございませんが、今、多くの方がスポーツで大垣城ホールを使っています。確かに、それをどこかに持っていくというのも考えられるんですが、それを持っていくと中心市街地が空洞化してしまうことが本当いいのか。それを基に、今できていることをしっかりできる大きさを考えました。確かにそこは贅沢かも知れませんが、スポーツ鑑賞やコンサートもやりたい。
- ・やっぱり市民会館という機能はなかなか難しく、あそこまでのコンサートができますかと言われたら、窓は全部なしで、光を遮断しなければなりませんし、誰もが思い浮かべる、ステージがしっかりあるホールとやはり体育館、アリーナ系統のコンベンションホールは違います。一方で良いところもあれば、悪いところもある。たくさん人が入って応援する、ある意味それも相乗効果というか、音響が跳ね返るんじゃなくて、みんなの歓声を肌で感じ横の人たちとも共感し、応援することができる。私たちは今のスポーツ機能を生かしつつ、さらにそういうコンサートや講演会やそういうのもできるところへ私たちは目指したいというところなので、今委員が言われた最高の部分と言われると、そこまでは目指していませんが、今の音響技術はものすごく上がっていると聞いておりますので、ある程度は機能でカバーして大会はできるようにしっかり整備をしていきたいと思っております。

委員

- ・はい、ありがとうございます。ということはスポーツ。軽スポーツを中心に、という意味合いで捉えていくんですね。

委員長

- ・私もそう捉えております。ちょっとコンサートの話、関係ない話を一つすると上之保って関の合併したところで、このところ、洪水が何回か起きたところ。そこに体育館的な施設で集会場みたいな施設があるんですけど。関市って読売交響楽団と連携していて毎年コンサートがあるんですけど、今年呼ばれたのが室内楽の5人くらいの方で、世界的

に活躍されている方5人が、木造の体育館のようなところで室内楽のコンサートされたんですけど、非常に素晴らしかったです。海外でもいろんなコンサートに行っていますけれども、人生で室内楽としては2番目に良かったなというくらい。ザルツブルクで聞いたのと、そこが本当に。木がいいのと、狭い木造の空間の中で非常に良かったです。やりようだと思うんですね。できるのかできないのかって、何でもできる空間とかっていうことが客観的に存在するかというと、そうでもなくてどのような行事をどういうふうにやっていくのかっていうことによつて、できていくし、できないと言ってしまうと、できないということなので、それはやりようだというお答えしかできないのかなと思っています。

- ・ただ、仕様を決めていくときに何を柱にするのかという話として、今日の市のご提案は、今までやってきた体育施設をベースにしたご提案になっている。ある程度、この施設を作る以上は使っていかなきゃいけない。使っていくときに今それほど当てがはっきりしているわけではないものではなく、確実に今まで50数%の利用があった、これまでの体育の利用というものをベースに考えましたというご提案なんだと思います。これをなくしてしまうと、今、実際使われている方は、大変困るわけですから、今の城ホールは耐震性に問題があつて継続的に使っていくのはよろしくないわけですよ。何らか新しくしていかなきゃいけないというときに、建てるものが今の大会ができる仕様よりも小さなものだったりしてしまうと、今やっている大会ができなくなるわけですから、その規模は欲しいというのが、今日のご提案だというふうに思っております。そういう趣旨のスタートなので、本来これがいいんだという話としては成立しないかも知れませんが、そういう形でご提案があるのですが。
 - ・ちょっと、ここ大分煮詰まってしまうので、次の施設規模の再検討と、いうところのお話をご説明いただいて、それを含めて具体的に話が少し見えてくるところでご議論いただくということでよろしいでしょうか。
- そうさせていただきます、「3」の説明をお願いします。

(3) 新大垣城ホールの施設規模等について (案)

事務局

- ・それでは、資料No.4 新大垣城ホールの施設規模等の再検討について、こちらの資料をご覧いただきたいと存じます。

- 1ページ目でございますのは、競技団体から頂戴しておりますご要望でございます。卓球・バドミントン・フェンシングがでございます。この3競技につきましては、令和4年度に大垣城ホールで公式戦が開催された競技でございます。空調設備の新設でございますとか、コートの方の広さの確保、大会時における役員の打合せ室の確保などの内容でございます。
- 2ページをお願いいたします。こちらは、各種大会を開催しようとする場合に、どのような規定があるのかというのを、事務局の方で調べさせていただいたものでございます。観客席、コートの方の規定ですとか、コート数がいくつあったらよいのかという内容でございます。観客席の方の列をご覧いただきますと、全国・県大会につきましては、何席といった規定はないということでございますけれども、日本リーグ、プロ等の試合になって参りますと、2,000席であったり、5,000席であったり、こういった規模を確保していく必要があるというものでございます。コートの方の規定の方はご覧の通りとなっております。また、コート数につきましては、これは、全国・県大会、日本リーグ、1施設に何個作るという規定はそれぞれの大会によって異なるということでございます。下の表でございます、現大垣城ホールとの比較ということでございます。現大垣城ホールにつきましては、ホールの床面積が1,508㎡。現在ご提案しておりますのは、新多機能ホールの方では1,800㎡ということで、県大会の使用面数、西濃大会での使用面数、1、2面というところではございますけれども、多くとれるといったこともあり、良くなっております。
- 3ページから4ページにつきましては、西濃地域の体育館系の施設について、建設年、ホールの面積、観客席数、ステージの形式を調べさせていただいております。
- 4ページの下の方の表につきましては、前回もお示しをさせていただいております、県内のアリーナがあるコンベンション施設の現況ということで、同様にホール面積、観客席数、ステージ形式を掲載しております。こういった各施設の状況などを踏まえまして、まず、ホールの面積、その次にステージ、その次に観覧席の席数、というふうに順番に検討を進めております。
- はじめに、ホール面積の検討でございます。西濃圏域16の体育館系のホールの面積の平均は約966㎡でございました。その内、最大は池田町総合体育館の1,733㎡でございました。県内のコンベンション施設、6

施設でございますけれども、こちらのホールの平均床面積は約1,839㎡、最大は中津川市の東美濃ふれあいセンターの2,320㎡でございました。それらの利用状況も聞き取りをさせていただきまして、西濃圏域で申しますと、半数以上の12施設がスポーツのみで利用されております。スポーツ以外での利用は少ないということでございますけれども、県内の6施設を見ますと、大半の施設はスポーツ以外にも利用されておりました。コンサートですとか、展示会、成人式などにご利用がされております。こうした県内のアリーナのあるコンベンション型施設でも、スポーツとイベントの両方が利用して使われているというような状況でございました。大垣市内にあります、ソフピアジャパンセンターのソピアホールで開催される行事、過去に開催された行事でございますけれども、就職面接会や企業フェア、即売会などの先程からお話が出ている内容でございます、6ページの方にもその内容が掲載してございます。

- ・こうした競技団体からのご要望ですとか、西濃圏域の体育館施設の最大面積。アリーナのある県内コンベンション施設の平均のホールの面積。これらを踏まえまして、新たな施設のホール面積は約1,800㎡とし、西濃地域の中心的なアリーナ型のコンベンション施設を目指すということでございまして、こちらは第2回でご提案申し上げた床面積と同じでございます。
- ・次にステージの検討をしております。西濃圏域の16の施設のうち、ステージがございますのは12施設でございました。この内、ステージの形式を見ますと9施設に常設のステージがあり、このうち8施設は昭和61年以前に建設された建物でございました。一方で県内施設には、全てにステージがございますが、コンベンション機能を有するということがございまして、設置形式は常設はなく、移動式または稼働式となっております。利用状況の方をお調べさせていただいたところ、西濃圏域の4施設の方は、ステージの利用がほとんどないという状況でございました。使用されていたものも年間20回程度ということで、県内でも同じく月2回程度の利用となっております。
- ・次に、現大垣城ホールのステージの利用状況でございます。令和元年度から令和4年度までの平均の利用率、こちらは全体で約29.2%でございます。うちイベント等での使用は約6%、スポーツ等では約23%となっております。スポーツでの使用方法ですが、一部では大会の本部席ですとか、練習会場としてステージをお使いになっているという事

例もあると伺っております。

委員長

- ・ステージをやめていこうという話はそんなに異論はないと思うので、簡単なお説明でよいと思います。

事務局

- ・ステージの方では各委員からもお話がございましたけれども、10ページをご覧くださいますと、設置形式の比較、他市町の利用状況も踏まえて、ステージは常設では設置せずに、使用者の方が仮設で組立をされるか、または、備品としてステージを使っていたりするような移動式としてはどうかと考えております。
- ・次に11ページをご覧ください。こちらは観覧席の検討でございます。こちらでも西濃と県内の施設の観覧席数をお調べさせていただきました。西濃圏域16施設の内、観覧席がありましたのは9施設で平均観覧席数は約141席。観覧席がない施設も7施設ございました。県内6施設では5施設に観覧席があり、平均は約1,605席、そのうち固定席が約1,182席となっております。その下でございますが、大垣城ホールの観覧席の利用状況を調べたものでございます。昨年からの1年間ということで、最も利用が多かったのは、682人の利用で利用率は57.8%ということです。これは、実際に観覧席に座っておられた方の人数を確認させていただいたものになっております。全体としては大半がスポーツ大会等でのご利用ということでございました。
- ・12ページをご覧くださいまして、「(3)」の観覧席数の検討結果でございます。現大垣城ホールの観覧席の利用状況、また、他市町の施設利用状況から、座席は700程度は必要ではないかと。しかしながら、コンベンション機能を拡大ということで利用の増加も踏まえますと、現状と同程度の面積を確保しながら、かつ、利用者の方の満足度向上のために1席あたりの座面間口を現在416mmですが、これを500mmに増やしまして、座席数は約1,000席程度を確保する。前回は1,180席、現状と同じ数を確保すると申し上げておりましたが、180席ほど少ないという状況でございます。また、この観覧席の設置形式につきましては、固定席なのか、それとも可動席なのかというのがございまして、これを調べますと西濃圏域の施設は全て観覧席は固定席でございました。県内では2施設が固定席のみであとは固定席と可動席の併用が2施設、可動席のみが1施設という状況でございました。「(5)」の方で、観覧席の設置形式の比較をさせていただいております。ホール面積約1,800㎡をとる

ということと、座席数は1,000席程度。この2つの条件を満たすということで固定席と可動席の場合を比較させていただきました。左側の方は固定席の場合です。右の図は可動席の場合ということで、ちょうど1,800㎡のホールの上に可動席が展開面積と収納面積の2つが必要となってくる。こちらの場合は足しますと970㎡が必要と。一方で固定席にした場合は700㎡ということで、可動席の方が270㎡多く面積が必要となるということでございました。14ページに出てまいりますけれども、設置費ですとか、年間維持経費などを比較いたしますと、固定席の方が低く抑えられ、設置時間も不要となります。14ページにはその比較表を掲載させていただいております。

- ・ これらを踏まえまして、観覧席の形式につきましては、固定席とさせていただきます、また、ホールに折りたたみの椅子を並べますと2,000席程度は並ぶということでございます。固定席の1,000席とこの折りたたみ椅子2,000席を加えますと3,000席といった規模の大規模なイベントにも対応した施設としてはどうかというものでございます。
- ・ 資料No.5の方には、第2回でお示しした施設規模の修正点を赤書きで掲載させていただいております。画面の方を見ていただきますと、新旧という形で、対比で資料を掲載しております。
- ・ この中で9ページの方をご覧くださいますと、新大垣城ホールの床面積を掲載してございます。床面積につきましては前回約8,500㎡でございましたが、ステージを常設で設けないことですとか、観覧席の必要面積の減少等により7,900㎡。前回の時には現施設の1.5倍と申し上げておりますが、1.4倍程度ということになっております。
- ・ 10ページの方をご覧くださいますと、最低建築面積でございますけれども、こちらの方が3階建ての方をご覧くださいますと約4,000㎡。第2回の委員会の折には約4,500㎡でございましたので約500㎡ほど少なくなっております。
- ・ 11ページの階層別のイメージをご覧くださいますと、以前は観覧席がステージを設けることにより1箇所設置ができませんでしたけれども、常設のステージを無くすということで口の字型に観覧席を配置することが可能となります。
- ・ 以上、施設規模の再検討及び修正案についてご説明させていただきました。よろしく願いいたします。

委員長

- ・ と、ということで、先ほどの議論を引き取って話をすると、この規模は

何で決まっているかという、体育施設としての性格から決まってきたということですね。それで、現在誘致している様々な大会について、県大会のところは特に少し充実してできる形で面積を取った計画になっているということだと思います。前回、常設のステージについては、いらないんじゃないかというご意見を複数いただいて、その方向で比較検討いただいたところ、ないところの方が多いということではなくということ。ステージをなくすことの効果が結構大きくて、床面積であったり、延床面積を大きく減らすことができているという、ご説明だったかと思います。ですから、この仕様がこういうふうに進んでいるということから言って、これ根本的に言うと体育施設だと思うんですよ。体育施設としては使わないときには、様々な行事で使っていくという趣旨で考えられている話なのかなと思いますので、ご説明の中でそれがちょっと表に出てこない違和感が出てしまうのかなと思いますけれども。やはり今使っている体育施設をそのまま引き継いでやっていく。新たに建てるからには、それを現代の技術でもって他の行事も使えるようにしていきますという、そういう趣旨の提案として理解した方がいいのかなというのが、今の規模の説明を見ていて思うところではあります。

- ・これを根本的に違うところで建てるという話も、現段階ではできる話ではないと。かなり戻って全然違う話になりますので非常に難しいのかなというふうに思います。この規模感で持ってご了承いただけるのかというところでもご議論というところになると思うんですけれども。ご質問ご意見、ございますでしょうか。

委員

- ・前回は観覧席の話について質問させていただいたので、引き続きですが、調べて頂いた所、観覧席としては700というのが最適数だということはおそらくわかると思います。ただ、今回は1,000になっているのですが、今日の話の中でも、イベント、コンベンションの時に使う場合には、多分、観覧席は使われていないという統計だったと思います。スポーツ時に観覧席は使われるということですので、プラス300席にする必要はないのではないかなと思います。ただ、4面になるので規模数は変わらないんだというのであれば、切りの良いところで1,000なのか、変わるのであれば、最低限の大きさを考えた場合には700にすればよいのではないかと思うのですが。その辺はいかがでしょうか。

事務局

・先ほど観覧席数をご説明させていただいたんですけれども、大会の時には観覧席の場所を自分たちの待機場所として、自分の試合の番が来るとそこから会場に向かいまして、荷物はその場に置いておくという、使われ方もされております。実際に座ってみえる方で1,000席全部を使っているというのではないんですけれども、使い方としては荷物を置いたり、そういったことに使っていますので、それが無くなりますと、大会等では減らすことで問題になるかと思っております。

委員

・少しは減らすが、1,000席は必要だろうということですね。理解しました。

委員長

・現実、なかなか詰めて使っていただけないという理解だと思います。他にいかがでしょうか。

・こういう仕様でもって進めていく。ですから、先程の議論に戻るとしたら、ちょっと機能の表の中で、スポーツ等推進というところが、いかにも健康増進と市民協働支援だけですから、このところに競技のところを少し適切な表現で加えて行ったり、あるいは順番を考慮するという中で、結局、仕様は大会に向けて、出来ている仕様ですから、この建物の本質はそこにあるんだろうというふうに思いますので。

・よろしいですか。これについて、この仕様でもって、いいのではないかということであれば、さらに景観の話もありましたので。あんまり細かい説明をいただくと私この近くにいると思います。はっきりと言って全く見えない。ですから、前の■■■■先生も■■■■先生も近くに建ててはダメだと言ったんですけど、現状をご存知なくて言われているというところもあって、理想論からすればそうかも知れませんが、あれだけ低いお城を360度見えるようにするとすると、周りを全部空にしなければならない。これは現実的ではなくて、今の見え方を少しでも良くしていくにはどうしたらいいかということかだと思います。今の見え方については、少し細かくお調べいただいたようなので、簡潔にご説明ください。

(4) 大垣城の見え方について

事務局

・それでは大垣城の見え方につきまして、前回の委員会でご意見等がございましたので、資料を作ってまいりました。資料No.6の方をご覧いただきたいと思っております。

- 先ず「1」の取り巻く環境につきましては、皆さんご存知のように戦後、土地の有効活用等で内堀が埋められて、高層の建物等が建設され始めて、見える場所がどんどん少なくなってきて、現在に至っています。
- 続いて2ページをご覧ください。大垣城周辺の建物の高さの現況でございます。大垣城を中心として、100m、200m圏内に、上の表にございます252棟の建物が建っております。この建物がどの高さなのかということになりますと、今、大垣城の天守の高さは約25.6メートル。これより大きい建物が100メートル圏内にはありません。100m以上200m内には、5と3ということで、全部で8棟の建物が建っています。
- 見え方についての定義をしっかりとった中で、どのように建物が見えているかということで、3ページに定義をさせていただいておりますが、他市も参考にいたしましたけれども、天守の見え方につきましては、全国で統一された定義はありません。そこで、他市を参考に見える部分がどこなのかということ調べたところ、天守の4階部分、ここが見えるということ「天守が見える」という定義をしているところが多々ありましたので、これを定義として、全部調査したのが、次の4ページです。
- 先ず、現況で、黄色の部分が現在見えるところです。城西広場からは写真の「①」にございますように、しっかり大垣城が上の部分だけではなく、その下の層の部分までしっかり見えています。その他にも、奇跡かも知れませんが、りんごっこ通り。興文小学校西になりますけど、本当に大垣城の天守の部分だけが見えているということです。
- 次に基本構想の時にも樹木がものすごく生い茂っているから見えないじゃないですか、というご指摘を受けておりますので、その樹木をある程度、整理と書いてございますけど、葉や枝を整えるための剪定ですね。やはり、樹木は緑化として大切な役割の面も持っていますので、剪定を行うとどの程度見えるかというのが緑色の部分になっています。特に5番、興文橋からしっかり大垣城が見えるようになります。大垣公園の周りは剪定をしますので見えます。さらに、市役所の北の交差点ですね。コンビニがあるところから。先程ご説明をした回遊性の中で行けばここに観光客の方が止まられますが、ここから大垣城の4階部分が見えるようになりますし、県道の反対側の道路からも見えるようになります。
- 続いて6ページをご覧くださいと、大垣城ホールの解体後、現城ホールのところには、建物は建てない、現公園エリア外へ出すということ

しっかり基本構想の中でもご提言いただいておりますので、ここには建てないとなると、ブルーの部分が見えてまいります。護国神社さんの方へ近づけば近づくほど、人間の目の高さが1.5~6mなので、その高さでは見えなくなりますが、県道の道路際からも見えるようになりますので、右下の解体後のスケッチ画ではございますけれども、描かせていただいて、こんなふう到大垣城ホールの跡のところから、回遊性でお客さんが来られると見えるようになるということをお調べしましたのでご報告をさせていただきます。

委員長

- ・要するに、今は、城西広場以外からはあまり見えないですね。それを少しでも見えるようにするにはどうしたらいいかということで、大垣公園というのが、そもそもは大垣城と一体で公園にきなさいね、ということで太政官布達公園ということで明治の頃から公園になったわけですので、今回の城ホール解体の中で、なるべく城と一体の公園として、城の前の公園として市民の皆さんがそこで集い遊べる空間を作っていきたいということなんだと思います。
- ・その方向はそうとして、ただ現実問題として360度、現状で見えるところが限られているので、これを徐々に大垣城のシンボル性を高めるためにも、景観整備もしていかなきゃいけないですねという確認ということなのかなと思います。そういうものとしてこれ以上深掘りしてもと思いますので、これでよろしいでしょうか。
- ・では、多く議論いただいて、機能についてはたくさんご意見を頂戴しております。ただ、言葉というところもありますので、これ以上、立ち止まっても仕方ないかなというところもございますので、今日、規模感については特にご意見なく進めさせていただいておりますので、その規模感のところを前提にして先の議論を進めてまいりたいと思います。何回か申し上げた通り、規模感は何で決まってきたかという、体育施設としてのところから決まっておりますので、この建物としての本質としては、やはり体育施設というところがあるんだろうと思います。
- ・ですから、機能の順番立てをしっかりときなさいという議論は、前回からもいただいておりますので、これについての整理はもう一度しっかりするということと、言葉の使い方、それからというところについてはご理解いただけるように、もう少し修正を加えていく必要があると思っています。また、体育施設の機能を他所に持っていくという議論は、

少なくともこの会議で、この場でやっていくのは難しいというか。そもそも依頼されている内容ですね、この会議が設置されている趣旨から離れた議論になりますので、ここの出発点としてはちょっと無理があると思います。そもそも他のところという議論は、かなり長期にわたってこうやっていかなければいけないということで、今回、大垣城ホールを壊して、新しく建てなきゃいけないという、その要請というか、その必要というのが差し迫っておりますので、この形で進めていくのが現実的ではないかというふうに理解をしているところでございます。

- それを前提に先程とこの後の議論もさせていただいて、また次回の会議に向けて、また様々なお議論いただいて最終これでいいのかという確認は次回の時にさせていただきますけれども、今、お引き取りさせていただいた論点については、こういう論点がありますということは今整理させていただいたということで、それは承った上で、今日、後の議論もさせていただきたいと思います。

委員長

- 公開の議論はここまでですので、5分間休憩させていただきますのでご準備をお願いいたします。

～5分間休憩～

(5) 建設候補地について (案)

※非公開のため略

事務局

- 委員長、委員の皆様、大変長時間にわたりご検討いただき誠にありがとうございました。これを持ちまして、第3回の会議を閉会させていただきます。
- 次回の会議でございますが、検討事項がございますので、日程を調整させていただいて皆様にご案内をさせていただきたいと思います。その折には、ご参会賜りますようお願いを申し上げます。

委員

- すいません。ちょっと一言よろしいですか。教育委員会のメンバーですけれども、教育委員会でも議事録はしっかりと取って、そして事前に回覧をメンバーの人たちにお配りするんです。今回、この議事録1枚のものをお配りいただいたんですけれども、できれば、今日の会議の

議事録を、署名者の方、今日、二人の方に決まりましたので、署名者の方のしっかりと署名をしていただいたものを事前に各委員、または、今日ご欠席の委員の方にもぜひ配っていただきたいなという要望ですので、よろしくお願ひしたいと思ひます

事務局

- ・そのようにさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。本日は誠にありがとうございました。

(終了時刻 15時43分)